

平成28年度 建設部 施策展開方針 報告書

1. まちづくり政策(建設部関係分)

政策 05 都 市 基 盤	政策展開の方向性							
	市民が暮らしやすく、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。 駅を中心としたにぎわいのある拠点を創出し、子どもから高齢者、障がいのある方までだれもが安心して過ごすことのできる計画的な市街地整備の推進や、安全で快適な道路環境の確保と公共交通の活性化などによる交通環境の充実によって、暮らしやすさを実感できるまちに向けた都市基盤の形成を進めます。							
	平成28年度の取組状況報告							
	05-01 市街地整備の推進							
	<ul style="list-style-type: none"> ・江別の顔づくりでは、野幌駅前南口広場等の基盤整備や野幌駅南通(第2工区)の用地買収等を進めるとともに、野幌駅周辺における土地利用の増進を図りました。 ・市営住宅整備の推進では、市営住宅長寿命化計画に基づく新栄団地の建替を実施し、C棟(48戸、平成29年度竣工予定)の建設に着手しました。 ・住みかえ支援の推進では、住宅取得等にかかる費用の一部助成を開始し、多世代同居・近居支援や多子世帯支援により、転入促進及び転出抑制を図りました。 							
	05-02 交通環境の充実							
	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で快適な道路環境づくりでは、未整備の百間境道路である元野幌274号道路の整備に着手し、平成28年10月に開園したよつば保育園に隣接する部分の歩道造成工事を実施し、安全な歩行空間を確保しました。 ・冬期間の交通の確保では、前年度に引き続き、つるつる路面の解消や幹線道路排雪の重点化などを実施したほか、除排雪機械の更新を行いました。また、市民協働の除排雪に向けた除排雪三者懇談会(市民・事業者・市)を、4地区(豊幌・江別・野幌・大麻)のほか、小ブロック2地区で実施しました。 							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標
	市街地整備に満足している市民割合(顔づくり、公園、バリアフリー化、上下水道等)		%	76.7	77.1	77.6	79.1	↗
	交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)		%	57.9	60.8	64.2	65.9	↗
建設部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況								
「江別の顔づくり事業(街路事業等)」 事業費進捗率(累計)		%	13	16	21	34	↗	
「江別の顔づくり事業(野幌駅周辺土地区画 整理事業)」 事業費進捗率(累計)		%	45	63	74	80	↗	
「新栄団地建替事業」 建替戸数		戸	48	48	96	96	↗	

2. えべつ未来戦略(建設部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 とものつくる協働のまちづくり	
戦 略 2 えべつの将来を創る産業活性化	
戦 略 3 次世代に向けた住みよいえべつづくり	■3B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり(えべつ版コンパクトなまちづくり) 「江別の顔づくり事業(野幌駅周辺土地区画整理事業)」(区画整理課) 「住宅取得支援事業」(建築指導課)
戦 略 4 えべつの魅力発信シティプロモート	

3. 建設部の資源

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳出決算額 (千円)	一般会計 (A)	4,735,036	4,517,813	4,199,635		
	特別会計 (B)	0	0	0		
	合計 (A+B)	4,735,036	4,517,813	4,199,635		
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	74	75	74		
	平均単価 (b)	7,853	7,764	7,670		
	人件費 (a×b)	581,122	582,300	567,580		
総額		5,316,158	5,100,113	4,767,215		